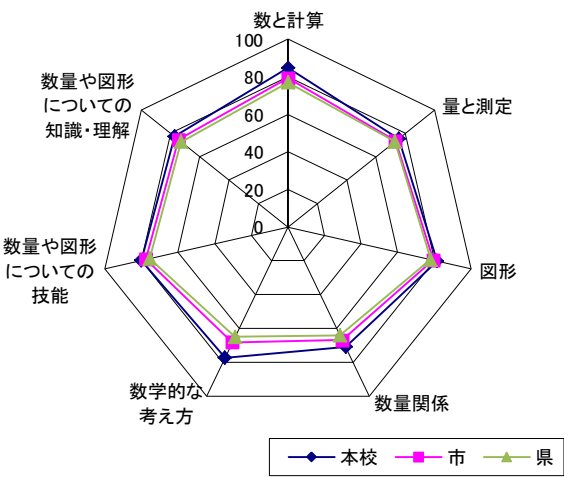


宇都宮市立平石北小学校第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	84.9	79.3	77.1
	量と測定	75.5	73.4	72.9
	図形	81.5	79.4	78.0
	数量関係	71.0	67.0	64.0
観点	数学的な考え方	77.3	68.2	65.1
	数量や図形についての技能	80.2	77.7	75.4
	数量や図形についての知識・理解	77.3	74.5	72.8



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・市の平均正答率を5.6ポイント上回っている。かけ算やわり算は正確にできるが、小数の大きさなどの理解に不正確なところがある。	・小数の仕組みについてプリント等を活用して復習し、理解の習熟を図る。 ・計算問題においては、桁数の多いものに不正解が目立ったので、ドリルなどを使って繰り返し練習する。
量と測定	・市の平均正答率を2.1ポイント上回っている。面積や角の大きさは正確に求めることができる。面積の単位の関係については理解が不十分である。	・面積の単位の関係について、具体物を利用して大きさ感覚を身に付けさせ、理解を深める。
図形	・市の平均正答率を2.1ポイント上回っている。展開図の見方や平行な関係については正確に理解しているが、決められた形を正確に作図することは苦手である。	・基本的な図形の特徴について復習し理解を深める。 ・正確に図形がかけられるように繰り返し練習を行い、定規やコンパスが正しく使えるようにする。
数量関係	・市の平均正答率を4ポイント上回っている。四則混合の計算など正確にできる。折れ線グラフや棒グラフの読み取りを苦手としている。	・いろいろなグラフをかく活動を通して、折れ線グラフや棒グラフの特徴を理解させ、数値の変化の様子など正確に読み取れるようにする。 ・社会科や理科の学習において、グラフの読み取りの練習をする。